

## 第 213 回 日本知能情報ファジィ学会 理事会議事録 (第 14 期第 6 回)

日時：2016 年 3 月 13 日 (日) 13:00～17:30

場所：慶應義塾大学 日吉キャンパス来往舎 小会議室

出席者：萩原 (会長)、林 (副会長)、中川 (副会長)、堀口 (事業)、川本 (会誌)、三河 (広報)、片上 (将来構想・他学会連携)、橋山 (大会事業)、伴 (賞選考・女性会員)、星野 (電子化検討)、金久保 (会計)、井上 (会計監事)、徳丸 (事業監事)、彌富 (庶務) (敬称略・下線部は欠席)

## 議題

## 議題

1. 議事録の承認 (資料 213-0: ML にて承認予定)  
異議なく承認した。
2. 学会 web の更新について (含 FSS2011 福井のサイト移転 2/5ML) (資料 213-1: 三河)  
Web 更新に関して、広報委員会に積極的に動いてもらうこと、理事会は最大限支援することを確認した。広報委員会は、委員長の三河理事に加え、副委員長に就任した林副会長に委員会の構成を含め依頼することとした。
3. バナー広告の掲載料請求について (2/26ML, 資料 213-2:三河)  
期限を区切って支払いがあれば継続し、そうでなければ取り消すこととした。  
2015 年支払いがなかったのに掲載され続けたことについて、消す判断を行う場を設けていなかったことが橋山理事より報告された。こういった個々の案件を理事会で議論することはふさわしくないため、以後担当理事が決定し理事会で報告する形式となった。(後日、この件は解約となり、バナー広告は削除された)
4. 学会誌の業務委託先について (資料 213-3:川本)  
資料 213-3 が提出されたが、川本理事より、「再度編集委員会で検討した結果、会誌と論文誌は分離せずに、出版社を 2 誌とも変更すること」が提案され、承認された。  
また、論文誌は A4 サイズに移行することを念頭に置いていることが報告された。  
会社の変更については、半年以上前に伝える必要があることから、2016 年 5 月、6 月には Eblo 社に伝える必要がある旨報告された。川本理事が 3 月中に Eblo 社に契約解除に向けた話をして、新しい出版社に契約の話を進めることが報告され、承認された。  
TeX での入稿が可能になれば、ページ抜けなどのリスクがなくなるが、TeX で入稿できない投稿者も想定し、Word 入稿も残すことが確認された。
5. FSS および SCIS の投稿サイトについて (資料 213-4:星野)  
資料 213-4 の報告を異議なく承認した。  
14 期後期活動に向けて (含 総会準備) [継続]  
B 広報 (論文誌、学会誌、web)

項目ごとに別の議題で議論を行ったためここでの議論は省略した。

6. SOFT 研究推進支援事業(前理事会からの引き継ぎ[継続] (片上)  
 前回までの議論による理事会の意見を乾口先生にお伝えし、次回具体案について議論することとなった。
7. ファジィ OR 研究部会の廃止について (資料 213-5 : 堀口)  
 資料 213-5 を異議なく承認した。申請書の廃止理由に、自費投入による負担感について記載があったが、事業補助の申請がされていなかったことから、研究部会との意思疎通が十分でなかった可能性が指摘され、今後連携を密にする必要が確認された。
8. IFSA からの質問事項に対する回答について (資料 213-6)  
 資料 213-6 を異議なく承認した。
9. 次回理事会の開催について  
 後日調整することとなった。年度が終わってから 2 か月以内 (5 月中) に決算を行う必要があるため、決算報告を行う総会の開催は 5 月中が望ましい。(5 月 20 日までに税理士に出す) しかし、各部会での報告が遅れることが予想されること、また修正申告を行うことで 6 月の実施も可能のため、状況に応じて  
 ただし、いずれにしても会誌に日程を掲載する必要があることから、早急に決定することが議論された。理事会はその前に、総会の準備をするための日程が議論された。  
 (3/27 : 次回理事会を 4/23 に決定、総会実施を 6/11 に仮決定)
10. その他
  - ・ ANGLE の再結成について  
 彌富理事の研究室の学生 (M2) を中心に活動を再開することが議論された。会計については、監督し責任を持つ教員がいることを条件とし、ANGLE 構成員には学会員でなくてもいいことが承認された。また 4 月 4 日以降も総会実施まで、メンバーの更新が可能であることが確認された。
  - ・ 彌富理事の在外研究による庶務業務について  
 彌富理事が 2016 年度の 1 年間在外研究により不在となるため、以下の体制をとることとした。
    1. 理事会の議事録 : 議事ごとに最も担当が近い理事が執筆し、メールにて彌富理事に送付し、彌富理事が取りまとめる
    2. 議事案の作成 : これまで通り彌富理事が担当
    3. 議事の進行 : 萩原会長が行うこととなった。
    4. 会場の予約、弁当の手配 : 前者は関連する理事が行い、後者は会計担当の金久保理事が担当することとなった。

(memo:継続審議事項)

- ・ 学会法人化について(212-議題 5, 211-議題 9)

- ・文献データベース委員会からの寄付金の使い道について(212-議題 8, 211-議題 11)
- ・平成 26 年度学会ロードマップの作成について (本議題 4 と同等 : 212-議題 12 他)

## 報告

1. 第 2 回将来構想フォーラムについての報告 (資料 213-R1 : 片上)  
シニアの先生方に総会に向けた部会の立ち上げを依頼することとなった。(講演や対談などを実施予定)
2. FSS 開催サポート体制の整備について[継続] (堀口、橋山)  
前回の報告時より、藤本先生と林先生を追加。橋山理事が ML を立ち上げ、特に問題なく進行していることが報告された。
3. ファジィ学問塾の SOFT-CR による Youtube 公開について (堀口)  
Youtube 公開について進捗は特になかったことが報告された。一方「ファジィ学問塾」が 10 年以上が経過し一定の成果を挙げてきた。今後、より未来志向で、タイトル、内容ともに人を引き付ける内容のもの (deep learning など) に見直しをしていくこと、ANGLE などの活動と紐づけるなどの案が出され、今後積極的に議論していくこととなった。
4. 会誌発行計画 (資料 213-R2:川本)
5. 会員数について (資料 213-R3 : 金久保)  
退会理由に、退職以外に「自身の研究領域と異なるため」が多くみられることから、学会としてカバーできる範囲について、ファジィなどのコアは残しつつ、時代とともに変化させていく必要があると意見が一致した。
6. 論文掲載連絡書のフォーマット変更  
(SNS 会員の勧誘、メールアドレスなどの記載欄の削除 2/6ML にて確認、対応)
7. 特別会員の申請承認について (有田清三郎先生 : 2/26 ML 承認済み)
8. JACIII の新刊案内を学会 ML で配信することを ML にて承認 (2/26ML)
9. その他
  - ・他学会との連携 (片上) IEICE の人工知能、知識処理と、SOFT の人間共生部会の連携 6 月末に研究会実施で現在 CF 作成中であることが報告された。
  - ・SCIS&ISIS での著作権移譲手続き (追加資料 213-R4) について橋山理事より報告がされた。